

EDGE M

Manual Generated: 19/11/2024 - 11:02



Table of Contents

EDGE M	3
はじめに	3
EDGE Mに含まれるもの	4
フロントパネル	5
リアパネル接続	6
接続	8
電源の同期	10
保護回路	11
トラブルシューティング	12
技術仕様	13
よくある質問	14

EDGE M

Last updated: April 23, 2024 02:34. Revision #12607



ユーザーマニュアル

はじめに

Last updated: August 9, 2022 05:03. Revision #10033

本ガイドは、本機を可能な限り速やかに、かつ簡単に設置し使用できるようにすることを目的に作成されました。本書に掲載の情報は印刷の時点でその正確性に万全を期していますが、継続的な向上がCambridge Audioのポリシーということもあり、設計や仕様は予告なく変更されることがあります。

本書には、著作権により保護された占有情報が含まれます。無断複写・転載を禁じます。当該の製造者の書面による事前の許可なくして、機械や電子、またはその他のいかなる方法によっても本書の一部または全部を複製することを禁じます。商標および登録商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。

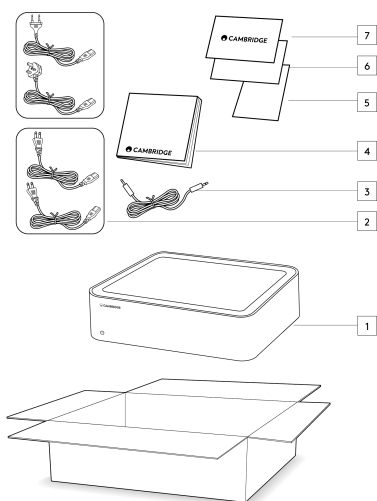
□ Copyright Cambridge Audio Ltd 2022

今後の製品、ソフトウェアアップデート、限定オファーに関する今後のニュースについては、必ず <https://www.cambridgeaudio.com/register> で製品を登録してください。

EDGE Mに含まれるもの

Last updated: August 9, 2022 05:03. Revision #10032

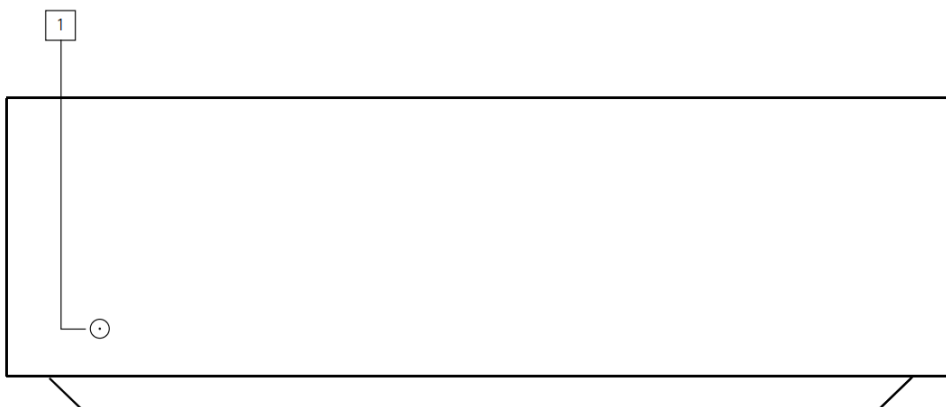
EDGE Mのパッケージには次のものが含まれます。



1. EDGE M モノブロックパワーアンプ
2. 英国の電源コード(EDGE Mがどの国で購入されたかによって異なります)
EUの電源コード(EDGE Mがどの国で購入されたかによって異なります)
CUの電源コード(EDGE Mがどの国で購入されたかによって異なります)
日本の電源コード(EDGE Mがどの国で購入されたかによって異なります)
3. リンクケーブル
4. 取扱説明書
5. 保証書
6. ウェルカムレター
7. 開梱カード

フロントパネル

Last updated: August 9, 2022 05:03. Revision #10031



1.スタンバイ/オン-スタンバイモード（暗いLEDで示されます）とオン（明るいLEDで示されます）を切り替えます。スタンバイモードは省エネモードで、消費電力は0.5W未満です。

自動電源切断（APD：Auto Power Down）

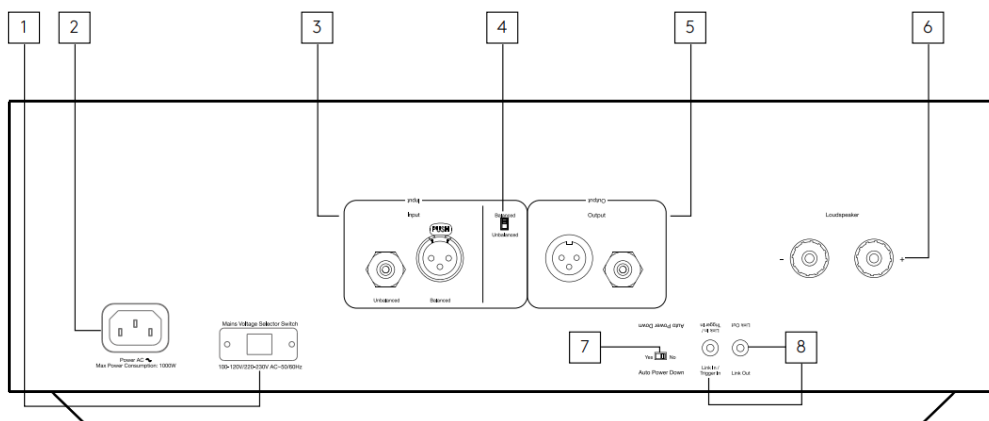
20分間操作をしないと、自動的にスタンバイモードに切り替わります。この機能を有効または無効にするには、本機の背面に位置するAPDスイッチをオンまたはオフにします。

自動電源オン機能（APU：Auto Power Up）

この製品は、音声信号を検出すると自動的にオンに戻り、通常の機能を再開します。自動電源オン機能は、製品が同じ入力で自動電源を切った後にのみ機能します。

リアパネル接続

Last updated: August 9, 2022 05:03. Revision #10030



1.電圧選択スイッチ

注意:Cambridge Audio専門技術者のみが使用！

2.AC電源ソケット

3.バランス/アンバランス入力-XLR入力はバランスが取れており、RCA入力はアンバランスです。

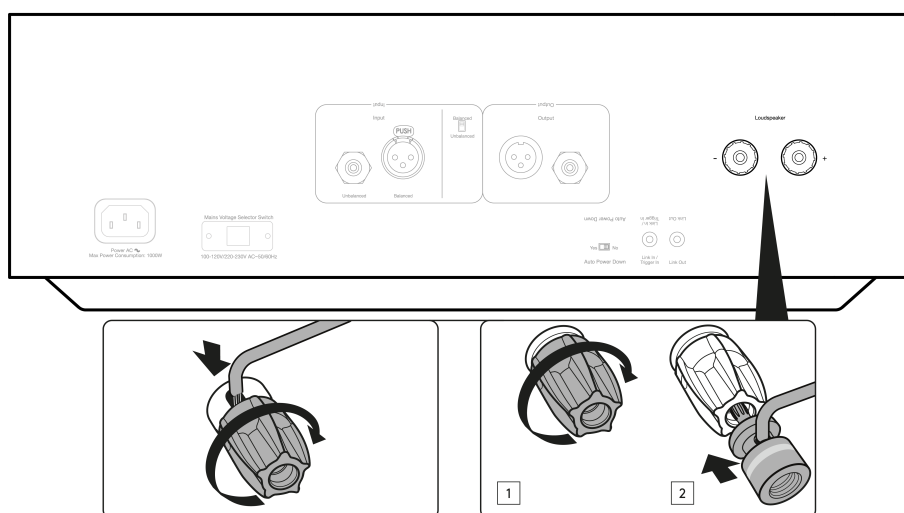
4.バランス/アンバランススイッチ - ソースがバランスXLRまたはアンバランスRCA入力に接続されているかどうかに応じて選択します。

注意:正しい入力ボタンが選択されていない場合、アンプから音は出ません。たとえば、ソースがバランス入力に接続されている場合は、バランススイッチが選択されていることを確認します。

5.ループアウト - XLR出力のバランスが取れており、RCA出力のバランスが取れていません。

6.スピーカーターミナル

注意: バナナプラグを使用する場合は、スピーカー端子が完全に締め付けられていることを確認してからプラグを差し込んでください。



左チャンネルのラウドスピーカーから左のプラスとマイナスの端子に、そして右チャンネルのラウドスピーカーを右のプラスとマイナスの端子にそれぞれ接続します。

左右どちらについても、赤い端子がプラス出力、黒い端子はマイナス出力です。

スピーカー出力を短絡させるような線がないように注意してください。通電が遮断されないことがないようにラウドスピーカーの端子がしっかり締まっていることを確認してください。

端子への接続があまいと、音質に影響する可能性があります。

7.オートパワーダウン(APD)スイッチ - オートパワーダウン機能を有効または無効にするスイッチ。20分間操作をしないと、自動的にスタンバイモードに切り替わります。

8.リンク - 詳細については、このマニュアルの「電源同期」セクションをご参照ください。

接続

Last updated: August 9, 2022 05:03. Revision #10029

ラウドスピーカー

スピーカーのインピーダンスを確認してください。インピーダンスが4から8Ωのタイプを使用できます。

赤いスピーカー端子はプラス (+) で、黒いスピーカー端子はマイナス (-) です。スピーカーのコネクターそれぞれについて、極性が正しいことを確認してください。極性が間違っていると、低音の効いてない弱くて歪んだ音になることがあります。

むき出しのスピーカーケーブルで接続

スピーカーの接続用ケーブルから外側の絶縁体をはがし、およそ10mm、ワイヤ（銅線）をむき出しの状態にします。ショートの原因となるおそれがありますので、10mm以上カットしないでください。ワイヤをしっかりとよってまとめ、はみ出ているワイヤがないようにします。スピーカー端子のネジをゆるめ、スピーカーケーブルを挿入し、端子を締めてケーブルをしっかりと接続します。

注意:すべての接続において標準的なラウドスピーカーケーブルが使われています。

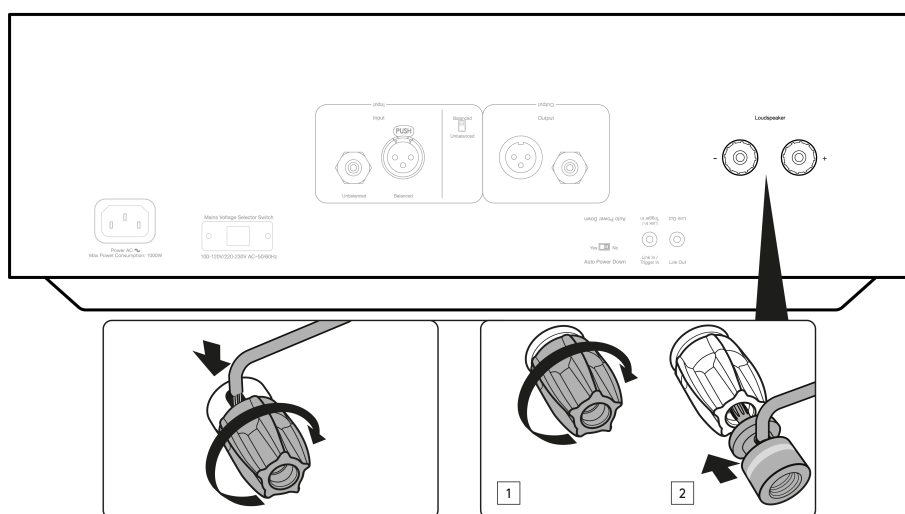


バナナプラグの利用

このユニットを安全に接続し、ノイズや干渉の原因となりうるワイヤのほつれを防止するためにも、バナナプラグの使用をおすすめします。

ケーブルの外側の絶縁体をむいたら、上記のとおりワイヤをしっかりと捻ってから、バナナプラグに接続します。スピーカー端子からダストキャップを外し、力を入れずにプラグを一番奥まで差し込みます。

注意: バナナプラグを使用する場合は、スピーカー端子が完全に締め付けられていることを確認してからプラグを差し込んでください。



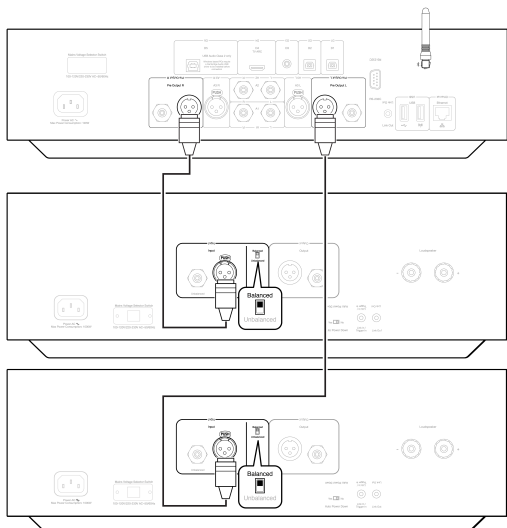
一般的な接続方法

バランスステレオ接続:

下の図は、2つのEDGE MアンプとEDGE NQ間の基本的なバランスステレオ接続を示しています。ステレオ接続では、各EDGE Mが1つのスピー

カーを駆動します。

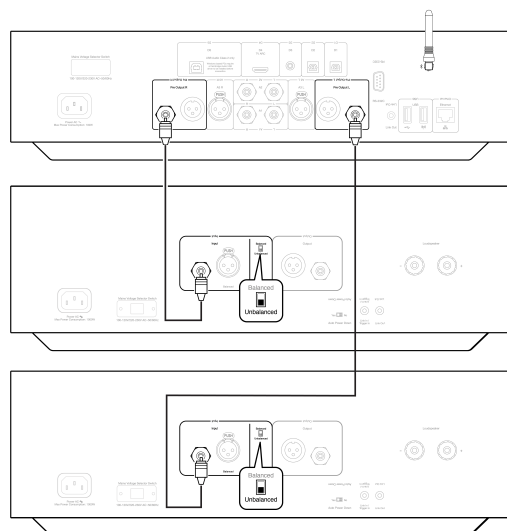
EDGE Mのバランススイッチは「バランス」位置にある必要があります



アンバランスステレオ接続:

下の図は、2つのEDGE MアンプとEDGE NQ間の基本的なアンバランスステレオ接続を示しています。ステレオ接続では、各EDGE Mが1つのスピーカーを駆動します。

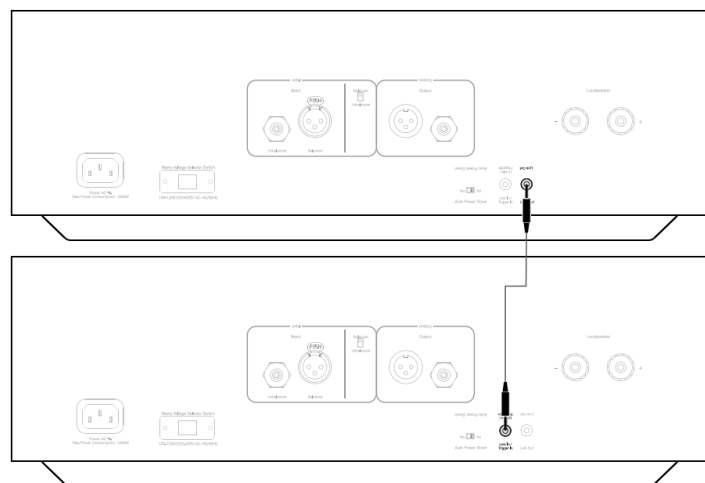
EDGE Mのバランススイッチは「アンバランス」位置にある必要があります



電源の同期

Last updated: August 9, 2022 05:03. Revision #10028

2つのEDGE Mアンプ間でリンクコードを使用して、電源オン/スタンバイを同期します。1つのEDGE Mのオン/オフを切り替えると、2番目のEDGE Mもオン/オフになります。



トリガーイン

EDGE Mは、ホームオートメーション装置のトリガーコントロール出力に接続して、その電源状態をコントロールすることができます。入力レベルは5V ~ 12Vである必要があります。

保護回路

Last updated: December 1, 2022 12:07. Revision #10027

EDGE MIは、過熱、DC、および過電流のフォルトを検出するためのアンプ保護回路を内蔵しています。これらの障害のいずれかが検出されると、LEDスタンバイボタンが赤に変わります。

過温度検出

過熱は、高リソニングレベルと低インピーダンススピーカーの組み合わせによって引き起こされます。EDGE MIには、出力トランジスタによって発生する熱を常に監視する温度検出が含まれています。

モニターされた温度が高いレベル（出力デバイスの限界内）に達すると、アンプは自動的に故障モードに切り替わり、損傷を防ぎます。

ラウドスピーカーのインピーダンスが低い場合、アンプがより激しく稼動するため、アンプの温度上昇が速くなることがあります。アンプがキャビネットに取り付けられていたり、換気口が塞がれていたりすると、短時間の試聴で過温度検出が作動したり、解除されたりすることがあります。

対処法- ユニットを 15 分間放置して冷却してから、スタンバイボタンを押して通常の動作を再開します。
ユニットが完全に冷却されていない場合、アンプの電源が投入された直後に温度が限界に達することがあります。

DC

EDGE MIは、何らかの内部障害のためにアンプの出力が高定電圧(DC)になった場合にラウドスピーカー保護を提供します。これはまれな障害ですが、検出するとスピーカーが損傷から保護されます。

処置- DC 保護回路の必要感度から、アンプの極端なハードクリッピングは DC 保護が作動する場合があります。この障害が発生した場合は、販売店に連絡してサービスを受けるか、サポートチーム www.cambridgeaudio.com/gbr/en/contactまでお問い合わせください。

過電流

EDGE MIは、出力トランジスタを常に監視して安全動作領域(SOA)内で動作させ続けることによって、V/I(電圧/電流)保護を提供します。SOAは、信頼性を確保するために出力トランジスタの製造元によって与えられた一連の制限です。V/I保護はアンプ回路に組み込まれており、一時的な過負荷状態に迅速に反応します。V/I保護機能が作動すると、ユニットは動作を続けますが、出力トランジスタを保護するため、歪みが聞こえることがあります。

処置 - 音量を下げます。それでも歪みがある場合は、スピーカーの接続と定格を確認します。

トラブルシューティング

Last updated: August 9, 2022 05:03. Revision #10026

電源が入らない

- 電源コードが機器本体にしっかりと差し込まれていることを確認してください。
- 電源プラグが壁のコンセントにしっかりと差し込まれており、電源スイッチが入っていることを確認してください。
- 電源プラグまたはアダプターのヒューズをチェックしてください。

音が出ない

- 機器がスタンバイモードになっていないことを確認してください。
- ソース機器が正しく接続されていることを確認してください。
- スピーカーが正しく接続されていることを確認してください。
- バランス/アンバランススイッチを介して正しい入力を選択されていることを確認します。
- 可能であれば、別の相互接続ケーブルとスピーカーケーブルを使用してください。
- ソースデバイスのボリュームコントロールをチェックして、ミュートされていないことを確認します。
- 別のソースデバイスに確認してください。

片方のチャンネルから音が出ない

- スピーカーの接続を確認してください。
- 機器間の結線を確認してください。

低音が弱い、あるいはステレオの定位が不明瞭

- スピーカーの極性が正しく接続されていることを確認してください。

大きなバズまたはハムがある

- 機器間の結線が緩んでいないか、あるいは接続コードが破損していないかどうかを確認してください。

LEDスタンバイボタンが赤く点灯

- トラブルシューティング手順については、「保護回路」セクションを参照してください。

技術仕様

Last updated: December 7, 2022 04:34. Revision #10025

最大連続出力

- 200W RMSから8Ω
- 350W RMSから4Ω

THD (UNWEIGHTED)

- <0.002% 1kHz、定格出力時 (8Ω)
- <0.02% 20Hz - 20kHz、定格出力時(8Ω)

周波数特性

<3Hz - >80kHz (+/-1dB)

S/N比 (1W、8Ω)

>93 dB

S/N比率 (参照最大電力) :

>105 dB

ゲイン :

28dB (RCA)/ 22dB (XLR)

入力感度 :

1.6V RMS (RCA) / 3.5V RMS (XLR)

入力インピーダンス :

- バランス47kΩ
- アンバランス47kΩ

入力

バランス、アンバランス

出力:

スピーカー、ループアウト

最大電力消費

1000W

スタンバイ時電力消費

<0.5W

外形寸法:

150 x 460 x 405mm □

重量:

23.6kg

よくある質問

Last updated: August 9, 2022 05:03. Revision #10034

EDGE Mではどのインピーダンススピーカーを使用できますか？

EDGE Mでは、インピーダンスが4 \square 8 Ω のスピーカーを使用できます。EDGE Mは、200W RMSを8 Ω に、350W RMSを4 Ω に出力します。

EDGE Mはどの増幅クラスを使用しますか？

EDGE MはクラスXA増幅を使用します。クラスXAの場合、信号が十分に大きなレベルに達するまで、両方のトランジスタセットが常にオンになるようにクロスオーバーポイントが移動します。

これは、低レベル信号の場合、アンプは本質的にクラスAアンプとして動作しており、信号が十分に大きい場合にのみトランジスタが切り替わることを意味します。したがって、クロスオーバーの歪みは信号内でマスクされます。